

発議案第 2 2 号

東葉高速鉄道運賃の値下げについて早期の実現を求める決議について

上記の発議案を別紙のとおり会議規則第 1 4 条第 1 項の規定により提出します。

平成 3 0 年 9 月 6 日

八千代市議会議長 西 村 幸 吉 様

提出者	八千代市議会議員	木	下	映	実
	同	成	田	忠	志
	同	山	口		勇
	同	小	澤	宏	司

## 提案理由

執行部に対し、東葉高速鉄道の運賃の値下げについて、その実現に向けて今後、積極的な働きかけをするよう強く求める。

これが、本案を提出する理由である。

## 東葉高速鉄道運賃の値下げについて早期の実現を求める決議

東葉高速鉄道は、首都圏への通勤・通学の交通手段として利用され、平成29年度決算によれば年間輸送人員は開業以来最高となる5,570万8,000人となり、1日当たりで見ても15万4,000人と前年度より約5,000人増加している。

また、会社の経営状況としては、6期連続で営業利益50億円台を確保し、8期連続で経常利益及び当期純利益を計上しているが、依然として2,601億円余りの長期債務を抱えている。

一方で、開業当初から建設に要した費用の返済のため、高い運賃が問題となっているが、昨年5月に行われた市長選挙において、東葉高速鉄道運賃の値下げを公約として掲げた服部市長が当選し、大いに期待される場所であった。

しかしながら、市長の就任から1年が経過しているが、いまだに運賃の値下げに向けた具体的な取組が見えてこない。

市議会での一般質問に対する答弁では、東葉高速鉄道株式会社の経営の安定化・自立を図ることが第一であることが述べられ、「東葉高速自立支援委員会において、関係機関と一体となって今後の支援のあり方を協議していく」とし、「経営安定化のために必要な有利子負債の縮減に向けた支援策を講じるよう、国への働きかけについて関係自治体間で共同歩調を取るべく、協議していく」とのことであった。

以上のことから、現状では東葉高速鉄道の運賃値下げについて、大きな進展は見られないものの、市民からの期待も非常に大きいことから、その実現に向けて今後、積極的な働きかけを強く求めるものである。

以上、決議する。

平成30年9月26日

八千代市議会